

コレクション展 2011-1 ことばの窓、イメージの扉

2011年3月17日(木)～6月19日(日)

「ことば」と「イメージ」をテーマに、文学作品の装丁・装画に使われた作品（または同一シリーズのもの）や、ことばを取り入れた作品を取り上げ、緊密な視覚的イメージとテキストの相関関係を考察し、美術表現の広がりをご紹介します。

「ことば」と「イメージ」の関係をコレクション作品から考察

絵画や彫刻などの美術作品を鑑賞する際、描かれた人物が思うことや、風景などが表現すること等、その奥に何らかのストーリーを見いだそうと想像力をかきたてられることがあります。

また、文芸作品を読む際に、情景や人物を描写する文章から視覚的なイメージを想起したり、逆に挿絵から内容や雰囲気を読み取るなど想像力をかきたてられることもあります。

このように、絵や彫刻などの視覚的な「イメージ」と、文章などの「ことば」との関係は密接かつさまざまな関係を持つといえます。

相互に影響を与え合う、もしくは「ことば」がイメージを想起

例えば、詩人や小説家が美術作品に、または画家や美術家が文学作品に影響を受けることは多々あり、近年の奈良美智とよしもとばななのように、装画や挿絵でのコラボレート、または美術作品をモチーフにした詩や小説などにその相互関係を見ることができます。

また、現代美術の作品の中には、文章やことばのもつイメージを想起する力を取り込んだ作品もあります。アルフレッド・ジャールの《われらの狂気を生き延びる道を教えよ（ヒロシマのために）》では、大江健三郎の印象的な小説のタイトル『われらの狂気を生き延びる道を教えよ』を作品の中に取り込むことで、「ヒロシマ」の現代的な意味を問いかけます。

「ことば」と「イメージ」の関係を問い直す

反対に、ことばをより記号的に、または、その意味以上の意味合いを拒否することによってことばとイメージの関係性を問い直す作品もあります。

マルセル・デュシャン《エナメルを塗られたアポリネール》は、「サポリン・エナメル」という塗装会社のポスターを「サポリン(SAPOLIN)」と「アポリネール(APOLINERE)」という綴りの変換によってまったく違う意味に書き換えたいわばことば遊びの作品であり、高松次郎の《日本語の文字（この七つの文字）》では、文字通り、「この七つの文字」という7つの文字のみが印刷され、文字という記号と意味がかたく結びついています。

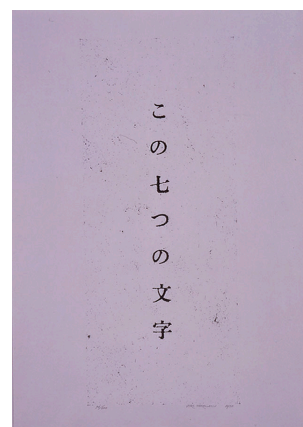
本展では、このように「ことば」をめぐる作品を通して、視覚的なイメージとテキストの関係性を問いかけます。



長谷川潔《開かれた窓》1951年



舟越桂《言葉の降る森》1989年



高松次郎《日本語の文字（この七つの文字）》
1970年

出品作家

大岩オスカル幸男、大竹伸朗、小林孝亘、奈良美智、舟越桂、日高理恵子、長谷川潔、駒井哲朗、浜口陽三、加納光於、大岡信、池田満寿夫、アルフレッド・ジャール、岡崎乾二郎、オノ・ヨーコ、松澤宥、荒木高子、マルセル・デュシャン、高松次郎、荒川修作、河原温ほか

開催概要

- 【会期】 2011年3月17日(木)～6月19日(日)
- 【開館時間】 午前10時～午後5時
 ※3月26日(土)～4月5日(火)、5月3日(火・祝)は午後7時まで
 (休館日は除く)
 ※入場は閉館30分前まで
- 【休館日】 月曜日(ただし3月21日(月・祝)は開館し、翌22日(火)休館)
- 【観覧料】 一般360(280)円、大学生270(210)円、高校生170(130)円
 ※()内は30人以上の団体料金



小林孝亘《GATE》1997-98年



奈良美智《Missing in Action -Girl meets Boy-》2005年

関連プログラム 奈良美智アーティスト・トーク

「イメージとしての言葉、スライドを使って」

本展出品作家であり、ことばを取り入れた作品制作や、小説家との交流など、ことばと深い関わりを持つアーティスト、奈良美智。

自身の作品とことばとの関係について、物語や歌詞にインスピレーションを受けるその制作のヒミツについて、スライドを交えながら語っていただきます。

日時/3月27日(日)14:00～15:30

定員/140名(先着順・当日午前10時から当館受付で整理券配布)

参加費/500円

ビデオアートプログラム特別上映 金氏徹平《Tower(Movie)》

3月からシンガポールで開催されるシンガポール・ビエンナーレに出品するなど、世界を舞台に活躍の場を広げる注目若手作家の金氏徹平。2007年に当館で開催した個展「splash&flake」は評判となりました。このたび彼の映像作品《Tower(Movie)》を当館で初めて特別上映いたします。あわせて作家を招いてのトークイベントも開催します。

上映会期/3月8日(火)～4月17日(日) ※無料

金氏徹平 アーティスト・トーク

日時/4月2日(土)14:00～15:30

※無料、事前申込み不要

【同時開催】

- 特別展 サイモン・スターリング 仮面劇のためのプロジェクト(ヒロシマ)
開催中～2011年4月10日(日)
- 特別展 高嶺格:とくてよくみえない
2011年4月23日(土)～7月10日(日)



金氏徹平《Tower(Movie)》
2009年
©Teppei Kaneuji
Courtesy: ShugoArts

広島市現代美術館(学芸担当:山下 広報担当:後藤、鈴木)

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園1-1

TEL/082-264-1121(掲載用)・082-264-1146(問い合わせ用・学芸直通)

FAX/082-264-1198

E-MAIL/hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp